

牛久：学校周辺に見る自然

第29号 牛久二小

2020年6月20日発行

< 校庭の樹木と虫たち ～6月の牛久二小 >

こんにちは。今回は、勤務する3小学校で最近見られた、校庭の樹木を中心に紹介したいと思います。まずは、牛久二小から。



きれいに花を咲かせるサツキ(左上)、クチナシ(右上)、大輪キンシバイ(左下)、シャリンバイ(右下)。

牛久二小では花壇の花もとぎれることなくきれいに咲かせていますが、樹木の種類も豊富で、一年を通していろいろな花や実を楽しむことができます。

6月になっても、サツキ(五月)が咲いていました。花びらには濃い赤の斑点がありますが、これはハナバチなどに蜜のありかを知らせる目印になり、「蜜標(ガイドマーク)」とよばれています。ほかにもいろいろな花に蜜標がありますから、ぜひ探してみてください。見つけたら、教えて下さいね。

グラウンドとの境でいい香を漂わせていたのは、クチナシ。春のジンチョウゲ、秋のキンモクセイと合わせ「三大香木」とよばれることもあるそうで、香水の原料にも使われるのですよ。実は料理の色づけに使われたりもしますが、私は草木染に使うことがあります。

クチナシの近くには、大輪キンシバイ(ヒペリカム・ヒドコート)も咲いています。花期は比較的長いですね。花を見ると分かりますが、オトギリソウ科のなかまです。ハチやチョウが、よく来ます。

グラウンドとの境だけでも何種類もの木があり、シャリンバイも咲いていました。この花にも、ハナバチやチョウの仲間がいろいろ訪れますよ。機会があれば、観察してみましょう。



たくさんの小さな花を咲かせるナンテン(左)と、赤い実をつけたアメリカザイフリボク(右)。

ひやくようぼこ
百葉箱のそばでは、ナンテンが白くかわいい花をたくさんつけていました。この小さな花にも、小さなハナバチやハナアブ類がよく来ます。では問題。ナンテンの花びらは何枚あるでしょう？

しょうかい
春に第6号で紹介したアメリカザイフリボクは、赤い実をたくさんつけていました。ちょっと前までは緑色で目だたなかったのですが、大部分赤くなりました。ジューンベリーともよばれ、黒っぽく
じゆくあま
熟すと甘くておいしいのですが、人より先に鳥に食べられてしまいます。



サクラの幹を歩くヨコヅナサシガメ(左)と、ねらわれた？ヒカゲチョウ(右)。



サクラの幹には、おなじみのヨコヅナサシガメがいました。幹を歩きまわっていましたが、獲物を探していたのでしょうか？別の幹でヒカゲチョウを写していたら後ろから近づいてきましたが、相手が強そうだったからか私に気がついたからか、そのまま下がって行きました。その他、風に揺られるクズのつるでは、オジロアシナガゾウムシが交尾していました。クズの葉を食べるゾウムシです。 【理科支援員：宮内】
クズのつるで交尾する、オジロアシナガゾウムシ。